

白石警察署協議会開催結果の概要

令和7年12月8日

会 議	令和7年度 第2回 白石警察署協議会
開催日時	令和7年11月13日（木）15：00～16：45
開催場所	白石警察署 訓授室
出席者	○ 公安委員会：1名 ○ 協議会：会長以下5名 ○ 警察署：署長以下9名 計15名
議 事 概 要	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 最近の管内情勢では、約4年間発生していなかった交通死亡事故が本年度に入り3件発生し、この痛ましい現状に大変危機感を抱いている。また、投資詐欺や警察を騙る詐欺等の特殊詐欺が管内でも発生している。命や財産が守られ、安全で安心して暮らせる町にするため、活発な意見を交わしていく。</p> <p>3 警務部長挨拶 凄惨な事件や新たな手口による犯罪に対応するため、県警察では県民の安全・安心を確保する諸対策を推進している。警察本来の業務である地域の皆様の安全・安心の確保に一層努め、忌憚ない意見を頂戴して県警察の施策に反映していきたい。</p> <p>4 署長挨拶 県内の人身交通事故が減少する中、白石地区の人身交通事故は増加しており、今回の「交通事故の抑止対策」に関する諮問で交通事故の総合抑止に繋がりたい。さらに、全国同様、ニセ電話詐欺をはじめ、SNS利用の投資詐欺・ロマンス詐欺が白石地区でも発生している。警察署ではこれら諸犯罪対策に取り組んでいるが、委員の皆様から様々なご意見をいただきたい。</p> <p>5 業務概況説明 (1) 警務課長 ～ 職員の休業取得・教養状況、各種広報活動状況等 (2) 生活安全・刑事課長 ～ 犯罪抑止活動、検挙状況等 (3) 地域課長 ～ 地域警察官の活動状況、110番受理状況、駐在所統合等 (4) 交通課長 ～ 交通事故発生状況、広報啓発活動等 (5) 警備係長 ～ 災害警備対策、テロ対策等</p> <p>6 諮問 署長から、「交通事故の総合抑止対策」について、諮問を受けた。</p>	

委員： ウィンカーを出すのが遅い人が多い。ブレーキを踏んでからウィンカーを出す人もおり、それが追突事故が多い要因ではないか。見通しのいい農道でも事故があり、互いが「早く自分が行く」と考えるので、どちらかに白線を入れてもらうと「ここは止まらなければ」と思うのではないか。互いが「このまま行ったら事故に遭うかも」という「かもしれない」運動の推奨が必要。

警察の広報誌の中に、クイズ形式で「右左折の合図を出すのはどのくらい前か」などと載せたら家族で話し合っ、事故防止に繋がるのではないか。

警察： 特に進路変更時のウィンカーが遅い。マナーが悪いのは思いやりがないからで、署員には相手のことを考えた運転をするよう伝えている。ウィンカーを出すのは誰かのためという意識が強いと思うが、ウィンカーを出さないと、追突されて事故が起こり、自分が嫌な思いをするという観点から広報啓発活動をしていても良いのではと思う。クイズ形式など広報のあり方も考えていきたい。

委員： 国道207号は片側2車線だが、車間距離が少しでも空くと割り込む車がいる。2車線は取締りしないのか。

警察： 近日中に実施する予定である。

委員： 国道207号の死亡事故現場にパトライトをつけたらどうか。

警察： 警察がいることで格段にスピードを落とす車両もいるので、検討していきたい。

委員： 江北町のカントリー付近は道路が一直線で広く、スピードを出して通行しており、交通量も多い。近くにパトカーがいて、見ると緊張が走り、いてもらうだけで効果はあるので今後も続けて欲しい。

警察： 事故防止には緊張感を持たせることが大事であるため、体制等を踏まえ、対応していきたい。

委員： 日暮れが早いので、年配の人には早く帰るよう声を掛け、安全な道を勧めている。各商店で「声かけ」を呼びかけてみようと思う。温かい言葉が心に余裕を持たせてくれるのではないか。

委員： 大町町は企業が多く、追突事故が多い。朝、ゆとりのない運転をして裏道を通ったり、飛ばして車間を詰めたり、夕方も混むので農道・町道を通っているが、高齢者が散歩をしたり自転車が通るので危ない。5分でもいいのでゆとりを持った早めの行動をすると、そのような運転が減るのでは。企業や学校に、今以上に周知をするといいいのではないか。

7 質疑等

委員： 大麻使用は低年齢化しているのか。

警察： 全国的には中学生もおり、手を出しやすい犯罪である。

委員： 有明駐在所の統合で、警察官が3人になるのか。

警察： 現在、有明駐在所の勤務員は2人、南有明駐在所は1人だが、統合後は2人になる。業務負担やIT化による効率化などから、総合的に判断している。

委員： 詐欺被害の認知日と発生日の差は何か

警察： 何度も振り込んだあとに、相談などをして詐欺と気付くため、警察の事件認知日と発生日に差がある。

委員： 認知日と発生日の期間が短くなれば被害額も少なくなるのか。

警察： 早く気付けば被害額も少なくなる。警察に来てはまだ信じている人もいるので、家族を含めて周知が必要である。

委員： 白石署での詐欺被害の被害額が9,000万円とのことだが、還ってきた金額はどのくらいあるのか。

警察： 当署では返還はなく、既に引き出されている状況であった。保障もあるが返還までに時間がかかる。

ショックで家族にも言えず、命を絶つ人もいる。手口が巧妙になり、コンビニや金融機関へのアプローチも大事であるため、対策を講じている。

委員： 国際電話の拒否は固定電話に限るのか。

警察： 国際電話不取扱いは固定電話のみとなっている。

8 次回開催予定

今回は令和8年1月下旬または2月上旬に開催予定

9 公安委員会総括

交通事故とニセ電話詐欺が2つの大きな課題であり、自身も皆さんが感じている課題を共有している。高齢化に伴い、自転車を含め、事故の種類も増えるのではないだろうか。警察活動も重要だが、地域の一人一人の声掛けや見守りで支え合って事故防止に繋げていくことが大事である。また、今の問題を役場と共有し、行政を活用するのも良いのではないだろうか。今後も協力して安全・安心な地域作りを進めていただきたい。

10 閉会